

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	鎌倉消防署・大船消防署警備課担当課長 櫻井英徳・竹ノ谷直人	
-	鎌倉・大船消防署警防活動	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 鎌倉消防署・大船消防署警備課 関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	災害に関する装備及び資機材を充実させるとともに、各種訓練を実施し、消防・救急活動の強化を図り、消防任務の達成に資する。
効果	有事の際、円滑で速やかな活動を行い、市民の生命、身体、財産を災害から守る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

年間を通じて、各種訓練、救命講習、消防訓練指導、地水利調査、立入検査等を実施した。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)				当初予算(千円)		
	国県支出金				国県支出金		
	地方債				地方債		
	その他				その他		
	一般財源				一般財源		
	人員配置数	192.0		195		195.0	
事業経費運営	人件費(千円)	1,635,074		1,667,116	人件費(千円)	1,651,179	
	総事業費(千円)	1,635,074		1,667,116	総事業費(千円)	1,651,179	
	市民1人当りの経費(円)	9,274		9449	市民1人当りの経費(円)	9,349	
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 各種訓練については、課題等を協議し効率的に実施するとともに、救命講習などの市民ニーズの高まりに答えながら予算規模を維持しつつ対応していく。今後も市民に安全、安心を提供し豊かな暮らしに寄与していく。	

総評(評価に対する考え方、根拠等)	消防業務全般や職員の経験不足を継続的な訓練等で補い、万全な体制で災害現場活動を実施する。さらに市民や事業所等に救命講習の普及啓発を推進するところであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、WEB講習による受講を主とした講習とするなど、新たな生活様式を考慮した考え方を研究しつつ、引き続き救命率の向上を図る。
-------------------	---

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	近年、災害現場活動が減少していることによる消防職員の経験・知識不足を解消するために、継続的に訓練を実施する。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	実戦的火災防ぎょ訓練、車両走行訓練、災害防ぎょ図上訓練等を定期的実施し、経験及び知識不足の解消に努めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	当直中の訓練等の実施には、時間の制約があり対応に苦慮している。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	各種訓練の実施日数						単位	日	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
災害活動のための各種訓練を実施し組織力の向上を図るため	目標値				365.0	365.0	365.0				
	実績値				365.0	365.0	365.0				
	達成率				100.0%	100.0%	100.0%				
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	市民の安全・安心の暮らしを守るため、引き続き本事業を実施していく上で、継続的な訓練や研修を実施することとなるが、新型コロナウイルス感染症拡大の動向を注視しつつ、市民や事業所等との接触については細心の注意を払いながら進めることとなる。										